※令和４年度以降入学生用

学校番号	404

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学 A	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	爽解　数学 A　（啓林館）						
副教材等	爽解準拠問題集　定着演習編　アクシス　Axis　改訂版　数学Ⅰ＋Ａ（啓林館）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では，課題に対して，自ら考え，周りの人と共同で考える活動を行います。
・「課題を理解する→結果を予想する→解決の方向を構想する→解決する→解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といった一連の過程で，自分の考えを発表したり，議論したりする活動を行います。
・問題集用のノートを用意してください。問題集の問題をまず自分で解いてみましょう。ただ答えを求めるだけでなく，途中式や考え方も書くようにしましょう。また，各自答え合わせをしてください。答え合わせは，自分がどこでつまずいたかを知るための大切なものです。家庭学習における課題は，定期的に提出してもらいます。

２　学習の到達目標

①図形の性質，場合の数と確率について、基礎的な知識や技能を身につけるようにする。
②事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにする。
③数学と人間の活動の関係について認識を深めるとともに，それらを活用する態度を育てる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力，不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章　場合の数と確率	第1節　場合の数 1　集合と要素の個数 2　場合の数 3　和の法則 4　積の法則 第2節　順列･組合せ 1　順列 2　円順列と重複順列 3　組合せ 4　同じものを含む順列	a：和集合や補集合の要素の個数を求めることができる。順列や組み合わせの公式を理解し，利用することができる。 b：ベン図を利用して集合を図示することで，集合の要素の個数を考察することができる。 c：集合を考えることで，日常的な事柄などを，集合の要素の個数として数学的に数えようとする。また，順列と組合せの違いに興味・関心をもつ。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 振り返りシート
		第3節　確率と期待値 1　事象と確率 2　確率の基本性質 3　期待値 第4節　いろいろな確率 1　独立な試行 2　反復試行 3　条件付き確率	a：確率の意味，試行や事象，積事象，和事象の定義を理解している。 b：集合の性質を用いて，確率の性質を一般的に考察することができる。 c：統計的確率と数学的確率の違いに興味・関心をもつ。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 振り返りシート
2学期	第2章　図形の性質	第1節　三角形の性質 1　直線と角 2　三角形の重心･外心･内心 3　チェバの定理とメネラウスの定理 4　三角形の辺と角の関係 第2節　円の性質 1　円周角の定理とその逆 2　円に内接する四角形 3　円の接線 4　方べきの定理 5　2つの円の位置関係	a：線分の内分・外分，平行線と比や三角形の外心，内心，重心などの定義，性質を理解している。 b：図形の性質を証明するのに，既習事項を用いて論理的に考察することができる。また，適切な補助線を引いて考察することができる。 c：三角形の辺と角の大小関係という明らかに見える性質を，論理的に考察しようとする。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

		第3節　作図 1　作図 第4節　空間図形 1　平面と直線 2　多面体	a: 正多面体の特徴を理解し，それに基づいて面，頂点，辺の数を求めることができる。 b: 空間における直線や平面が平行または垂直となるかどうかを，与えられた条件から考察することができる。 c: 空間における図形の位置関係について，積極的に考えてみようとする。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 振り返りシート
3学期	第3章　数学と人間の活動	第1節　数学の歴史・文化 1　位取り記数法とn進法 2　整数の性質 3　不定方程式と互除法 4　位置の表し方 5　地球を測る 第2節　数学とパズル・ゲーム 1　図形の敷き詰め 2　石取りゲーム	a: 素因数分解を利用して最大公約数・最小公倍数を求める方法を理解している。 b: 問題解決の過程を振り返って，割り算の余りの性質について考察を深めることができる。 c: 日常生活における具体的な事象の考察に，約数と倍数の考えを活用しようとする。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度